

# 次世代メディア芸術人材育成プロジェクト (実施団体:宝塚大学)

## 目的・目標

本プロジェクトは、日本のメディア芸術とコンテンツ産業の未来を担う、国際的に活躍できる次世代のクリエイターおよびプロデューサーを育成するための教育プログラムの開発・実装を目的とする。具体的には①大学院メディア芸術研究科に「メディアプロデュース専攻(仮称)」の設置、および②学部レベルのクリエイター育成カリキュラムの開発に取り組むことを通じて、メディア芸術教育の意義を再定義し広く社会に公表することを目指す。

## 概要

クリエイターとプロデューサーが協働して作品創造とその展開を同時に学ぶ教育モデルにより、国内外の有識者や産業界と連携し、翻訳・ローカライズ・国際広報・市場戦略などの知識や実践力を涵養するとともに海外展開もカリキュラムに組み込む。さらに探求学習の支援を通じて初中等教育と接続し、あらゆる世代の社会的資源として創造力を活用できる持続的な人材育成体制を構築する。

(区分・分野)

アニメ

(対象となる職種)

アニメーター・マンガ家・プロデューサー

(育成人数)

480名/3年

## 3年目までの取組

- 1年目：企業・クリエイターと連携して、育成プログラム開発のための**現状の課題整理とスキル標準**を策定（2回/月程度）。
- 2年目：**海外のポップカルチャーイベントへ出展**（ジャカルタやパリを予定）。調査と育成プログラム開発を継続実施（年間20回程度）。
- 3年目：**プロデューサー育成のための大学院カリキュラム**を開発。**大学40周年、学部20周年の行事として成果報告会・展示会**を実施。調査と育成プログラム開発を継続実施（年間12回程度）。



## 5年目までの取組

- 4年目：**海外の企業・教育機関と連携協定**を締結。クリエイター向けのカリキュラムを整理・検証し、**国内IPの海外展開**について企業と連携した実証を開始。
- 5年目：大学院メディア芸術研究科に「**メディアプロデュース専攻**」を設置するためのカリキュラムを完成。クリエイター向けカリキュラムは学士課程教育に一定の反映をさせつつ、課外活動として通年で提供できるように体系化する。



## 成果目標（見込）

## 目標値

国際的な活躍に必要なスキル習得のために開発・実証された育成プログラムの数

3年目：2件  
5年目：3件

国内外の教育機関・専門機関・企業・団体等との連携数

3年目：20件  
5年目：25件

育成プログラムの参加者が世界的に認知されている海外の芸術祭・文化施設・大学等の教育機関への参画や招へいを受けた件数

3年目：2件  
5年目：5件

育成プログラムの実証に参加した人数

3年目：480人  
5年目：960人

## 中核となる指導者等

渡邊 哲意 (宝塚大学大学院 メディア芸術研究科長)

国内外のメディアアートイベントにてディレクターを務めるほか、海外大学での講演、国内初等・中等教育での芸術教育プログラム開発協力などを行う。本プロジェクトの全体統括・運営委員長を担う。



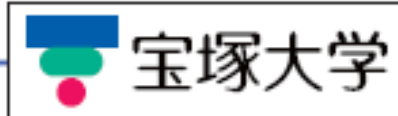
## 国際的な場での実践の取組例

コミックフロンティア (インドネシア・ジャカルタ)

2年目11月を予定。現地マーケティングの拠点としても活用されている本イベントで、海外展開に向けた調査を行い、ネットワーク形成の橋頭保とする。このほか、パリ・ジャパンエキスポ (3年目7月) なども予定している。



## 体制図



### 宝塚大学 メディア芸術先端教育開発センター

【運営委員会（宝塚大学教員と中核となる外部有識者）】

- ・プロジェクトの方向性策定
- ・講演・研修・調査計画等の企画・運営
- ・成果検証、カリキュラム開発

【運営事務局】

- ・プロジェクトの事務担当部署
- ・web サイトの運営を含む情報公開

【教育開発・評価チーム（宝塚大学 IR/FD 担当者）】

- ・育成プログラムの効果検証
- ・大学院カリキュラムの開発

宝塚大学  
在学生

シンポジウム・研究会の運営  
育成プログラムの開発と実践・検証

### 連携協定締結団体

連携高校

新宿区

育成プログラムの実証で協力

人材ニーズ・スキル標準の整理 / 海外展開 / 育成プログラムの実証で連携

### 国内外のネットワーク

#### 海外連携機関

中国伝媒大学（中国）

北京城市学院（中国）

IVI DREAM（スペイン / カナリア諸島）

戸田国際財団

INSAAC（コートジボワール）

▶西アフリカ地域におけるマンガ教育

#### 国内機関

JAniCA

日本動画協会

日本漫画家協会

宝塚大学卒業生